

山口県小学生バレーボール連盟の主催試合時における 服装に関わる確認事項

山口県小学生バレーボール連盟
競技委員長 三隅 隆弘

A.ユニフォームについて

2019年度6人制競技規則（以下；競技規則）4.3.1ジャージ、パンツ、ソックスの色とデザインはチームで統一されていなければならない。および2012年通達「ユニフォームの基本的な考え」に沿って、規定しています（別紙参照）。

- 1) 袖のないユニフォームは選手の安全性を配慮し禁止とする（2019年度小学生競技規則付則2）
- 2) 上着はパンツに入れる
- 3) 番号の色と明るさはジャージと対照的でなければならない（2019年度競技規則4.3.3.1）
同色で違う色での縁取りの番号やグラデーションの番号は不可
- 4) 番号は胸部が最小限10cm、背部が最小限15cmの高さ（小学生競技規則第2条-2）
- 5) サポーター以外の選手に有利となる可能性のあるものの着用禁止（競技規則4.5.1）
- 6) ユニフォームの襟、袖、裾からアンダーウェアがはみ出してはいけない
- 7) 県名は袖に付けることができるがチーム名より小さい（高さが低い）こと

「同じ色パターン」について

今流行の切替しデザインに対して、同じ色とパターンと言う事です。同じ色（ネイビー、紺...等）なら問題ありません。製造年による色味の違い、経年劣化（色あせ）によるものが考えられますが、「明らかに」というものでなければ問題ありません。

「混合チームのユニフォーム」について

平成30年2月4日付け、「男女混合チーム取り扱い確認事項」より

ユニフォームは同じチーム名で男女が異なるユニフォームを着用する。

もしくは男女同一ユニフォームとする。その際、男子には指定された識別バンドを着用させる。なお、識別バンドは主催者で用意する。

トスの際に審判がそれぞれのチームに渡し、全員着用の確認を審判が完了したらプロトコールを開始する。

B.スタッフの服装について

競技規則補足の6および県決勝大会競技上の注意より、

「監督、コーチ、マネージャーはマークを必ず左胸につけ、統一した服装で（襟付きのシャツ。短パン、キュロットは不可。ライン、ロゴ等も統一）ベンチ入りする事。」

- 1) 襟付きのシャツはパンツに入れる
- 2) 襟付きのシャツの襟や袖からアンダーウェアがはみ出してはいけない
- 3) 小学生がスタッフになる場合Tシャツ・短パンでも良い。
但し、他のスタッフと上着とパンツの色に近いものにする。

「防寒着について」（平成29年度新人大会県決勝大会競技上の確認事項5-(2)-①より）

試合開始時と終了時の挨拶の際は、防寒着を脱いで下さい。

挨拶の際に脱いでいる物が防寒着で、それ以外の服装は全て統一されている事。

「試合中の通信機器の使用について」（2009年通達；別紙参照）

止むを得ず選手の安全や健康管理上の観点から使用する場合を除き、ベンチにおいて使用を禁止します。